

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	国際学部
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものである
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1) 研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2010年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価			
		2010	2011	2012	2013
1. 毎年度、教授会にて教員研究組織が「理念・目的」「学術の進展や社会の要請」と適合しているかについて懇談し、その確認を行う。	1. 指標: 当該年度における教授会での懇談(教員研究組織が「理念・目的」「学術の進展や社会の要請」と適合しているかについて)の有無 評価基準: 実施した…評価A、実施しなかった…評価D	A	A	A	
2. 毎年度、言語・文化、社会・ガバナンス、経済・経営領域に関する教授研究会を4回以上開催する。	2. 指標: 当該年度における教授研究会の開催回数 評価基準: 4回以上実施した…評価A、3回…評価B、2回…評価C、1回以下…評価D	A	A	D	

2011年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2010	2011	2012	2013
	→				
	→				

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	4月教授会にて、国際学部設置の趣旨等に関する件として、設置届出書、学則抜粋の資料に基づき、次の3点について懇談を行った。完成年次後にカリキュラムを改編する予定だが、その際には国際学部の理念・目的等について充分考慮する必要がある等の意見がだされた。 (1) 国際学部の「理念・目的」について (2) 教員研究組織が「理念・目的」「学術の進展や社会の要請」と適合しているか (3) 「教育・研究上の目的」「学位授与方針」「教育課程編成の基本的な考え方」の適切性について
目標2	2012年度中に、経済・経営領域の准教授の報告をもとに教授研究会を1回実施した。
備考	